

平成25年度

掛川市・袋井市病院企業団
病院事業会計決算審査意見書

掛川市・袋井市病院企業団監査委員

掛袋病企監第12号
平成26年7月30日

掛川市・袋井市病院企業団
企業長 名 倉 英 一 様

掛川市・袋井市病院企業団

監査委員 横 山 茂 明

監査委員 原 田 達 功

平成25年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計
決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された、平成25年度掛川市・袋井市
病院企業団病院事業会計決算及び附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出する。

目 次

	ページ
1 審査の対象	1
2 審査の期日	1
3 審査の方法	1
4 審査の結果	1
5 決算の概要	2
(1) 業務の執行状況	2
(2) 予算の執行状況	5
(3) 経営成績の状況	8
(4) 財政の状態	15
(5) 未処理欠損金の処理について	16
6 キャッシュ・フロー計算書	17
7 審査所見	19
8 附表1～3（併参考資料）	21

注 記

- 1 千円単位で表示した金額は、原則として百円単位を四捨五入した。そのため差額又は合計金額が一致しない場合がある。
- 2 比率（％）は、原則として小数点第2位を四捨五入（ただし、99.95％～99.99％のものは、99.9％としている。）し表示したため、合計比率が一致しない場合がある。また決算書等、他書類と一致しない場合もある。
- 3 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
「0.0」 ----- 該当数値はあるが表示単位未満のもの
「△」 ----- マイナスのもの

平成25年度掛川市・袋井市病院企業団 病院事業会計決算審査意見

1 審査の対象

平成25年度 掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計決算

2 審査の期日

平成26年6月9日

3 審査の方法

掛川市・袋井市病院企業団企業長から審査に付された決算書及び附属書類について、財務会計上の合規性の検証に加え、事務事業が経済的かつ効率的に執行されているか等に主眼をおき、通常実施すべき審査手続を実施した。

また、計数の確認、関係諸帳簿との照合等を行うとともに、関係職員の説明を聴取した。

4 審査の結果

審査に付された当年度の決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、関係諸帳簿及び証拠書類といずれも符合し、正確であると認められた。

なお、審査概要及び審査所見は、後述のとおりである。

5 決算の概要

1 業務の執行状況（予算書第2条関係・業務の予定と実績対比）

(1) 病床の利用状況

区 分	平成25年度	平成24年度		24年度県平均
		掛川市立 総合病院	袋井市立 袋井市民病院	
病 床 数 (床)	500	450	400	-
病 床 利 用 率 (%)	79.0	56.1	32.0	79.5
平均在院日数 (日)	10.4	11.9	11.6	15.8

・許可病床数は500床、病床利用率は79.0%となった。

(2) 患者数の状況

(単位:人)

区 分	平成25年度			平成24年度			
	当初予定	補正後予定	実 績	掛川市立 総合病院	袋井市立 袋井市民病院	2病院 計	
利用患者数	424,145	391,217	393,430	278,642	159,457	438,099	
内 訳	入院患者数 (診療実日数)	131,645 335日	131,645 335日	132,295 335日	92,220 365日	46,778 365日	138,998 365日
	外来患者数 (診療実日数)	292,500 225日	259,572 223日	261,135 223日	186,422 245日	112,679 245日	299,101 245日
一日平均入院患者数	393	393	395	253	128	381	
一日平均外来患者数	1,300	1,164	1,171	761	460	1,221	
月平均入院患者数	11,968	11,968	12,027	7,685	3,898	11,583	
月平均外来患者数	26,591	23,597	23,740	15,535	9,390	24,925	

※平成25年度は、平成25年5月1日開院のため11ヶ月分

- ・利用患者数の開院後11ヶ月の実績数は393,430人であり、補正後予定数391,217人と比べて2,213人上回った。ただし、当初予定対比で見ると入院については、ほぼ予定どおり(650人増)であったが、外来については予定対比△31,365人と大きく下回った。
- ・利用患者数の多い診療科は、入院で、整形外科19,196人、内科16,913人、消化器内科14,009人となっている。外来では、内科41,326人、整形外科25,479人、救急科20,411人となっている。

[資料 1]

地域別延べ患者数

平成25年度

(単位:人、%)

	掛川市	袋井市	菊川市	御前崎市	森町	磐田市	他県内	県外	計
入院	74,448	35,776	8,548	4,190	2,504	1,859	3,406	1,564	132,295
外来	146,835	70,226	17,324	7,543	5,468	4,219	6,450	3,070	261,135
計	221,283	106,002	25,872	11,733	7,972	6,078	9,856	4,634	393,430
構成比	56.2	26.9	6.6	3.0	2.0	1.6	2.5	1.2	100.0
月平均	20,117	9,636	2,352	1,067	725	553	896	421	35,767

※平成25年度は、平成25年5月1日開院のため11ヶ月分

<掛川市立総合病院>

平成24年度

(単位:人、%)

	掛川市	袋井市	菊川市	御前崎市	森町	磐田市	他県内	県外	計
入院	72,158	3,942	8,446	2,990	629	512	2,389	1,154	92,220
外来	139,147	9,575	19,323	6,727	1,252	1,214	7,292	1,892	186,422
計	211,305	13,517	27,769	9,717	1,881	1,726	9,681	3,046	278,642
構成比	75.8	4.8	10.0	3.5	0.7	0.6	3.5	1.1	100.0
月平均	17,608	1,126	2,314	810	157	144	807	254	23,220

※浜松市は他県内へ含む

<袋井市立袋井市民病院>

平成24年度

(単位:人、%)

	掛川市	袋井市	菊川市	森町	磐田市	浜松市	他県内	県外	計
入院	7,417	32,811	603	2,673	1,897	624	526	227	46,778
外来	13,797	81,522	730	8,175	5,001	1,941	1,157	356	112,679
計	21,214	114,333	1,333	10,848	6,898	2,565	1,683	583	159,457
構成比	13.3	71.7	0.8	6.8	4.3	1.6	1.1	0.4	100.0
月平均	1,768	9,528	111	904	575	214	140	48	13,288

※御前崎市は他県内へ含む

<2病院 計>

平成24年度

(単位:人、%)

	掛川市	袋井市	菊川市	森町	磐田市	他県内	県外	計
入院	79,575	36,753	9,049	3,302	2,409	6,529	1,381	138,998
外来	152,944	91,097	20,053	9,427	6,215	17,117	2,248	299,101
計	232,519	127,850	29,102	12,729	8,624	23,646	3,629	438,099
構成比	53.1	29.2	6.6	2.9	2.0	5.4	0.8	100.0
月平均	19,376	10,654	2,425	1,061	719	1,971	302	36,508

※浜松市、御前崎市は他県内へ含む

(3) 建設改良の執行状況（消費税含む）

ア 施設改良費 予定額 8,858千円 実績額 8,301千円

〔主な施設改良〕

・透析室ロールスクリーン追加工事	1,297 千円
・消防受令器設置工事	1,296 千円
・院内保育園カーテン工事	1,294 千円
・院内ブラインド等追加工事	1,232 千円
・院内サイン掲示追加工事	1,048 千円

イ 資産購入費 予定額 468,214千円 実績額 322,174千円

〔主な有形固定資産の購入〕

器械備品

・コンピューター断層撮影装置（放射線室）	44,657 千円
・磁気共鳴画像撮影装置（放射線室）	44,153 千円
・動画ネットワークシステム（放射線室）	27,074 千円
・手術用顕微鏡（脳神経外科）	23,118 千円
・一般撮影装置（放射線室）	16,610 千円

什器備品

・滅菌コンテナ昇降式器械台（手術室）	4,130 千円
・外来待合椅子（管理課）	2,624 千円
・スタッキング椅子（管理課）	1,231 千円

ウ リース資産購入費 予定額 43,260千円 実績額 39,655千円

〔主なリース資産の購入〕

・生化学分析装置（検査室）	7,473 千円
・血液分析、塗抹標本（検査室）	5,435 千円

2 予算の執行状況（消費税含む）

(1) 収益的収入及び支出（第3条関係）

ア 収益的収入の執行状況

（単位：千円、％）

区 分	予 算		決 算	執行率	比較増減額
	当 初	現 額	金 額		
第1款 病院事業収益	12,765,013	12,808,000	12,771,754	99.7	△36,246
第1項 医業収益	11,105,802	11,166,066	11,140,574	99.8	△25,492
第1目 入院収益	6,876,081	7,388,189	7,468,744	101.1	80,555
第2目 外来収益	3,387,150	2,918,879	2,875,394	98.5	△43,485
第3目 その他医業収益	681,304	697,731	635,169	91.0	△62,562
第4目 他会計補助金	161,267	161,267	161,267	100.0	0
第2項 医業外収益	1,659,211	1,641,934	1,631,180	99.3	△10,754

- ・病院事業収益は、予算 12,808,000千円に対し、決算 12,771,754千円で、36,246千円の収入減となっている。
- ・医業収益では、予算に対する比較が入院収益では 80,555千円の収入増、外来収益では 43,485千円の収入減、その他医業収益では 62,562千円の収入減となったため、総額で 25,492千円の収入減となった。
- ・医業外収益の主なものは、2市からの負担金であり、1,455,145千円となっている。

イ 収益的支出の執行状況

（単位：千円、％）

区 分	予 算		決 算	執行率	不用額
	当 初	現 額	金 額		
第1款 病院事業費用	13,427,358	14,070,000	13,945,212	99.1	124,788
第1項 医業費用	12,786,779	13,498,283	13,393,489	99.2	104,794
第2項 医業外費用	635,579	566,717	551,723	97.4	14,994
第3項 予備費	5,000	5,000	0	0.0	5,000

- ・病院事業費用は、予算 14,070,000千円に対し、決算 13,945,212千円で、不用額 124,788千円となった。
- ・不用額の主なものは、次のとおりである。

（医業費用）	予算現額	決算額	不用額
経 費	2,131,247 千円	2,011,637 千円	119,610 千円
研究研修費	60,776 千円	42,874 千円	17,902 千円
（医業外費用）	予算現額	決算額	不用額
院内保育園運営費	70,671 千円	63,329 千円	7,342 千円
支払利息及び企業債取扱諸費	243,983 千円	237,063 千円	6,920 千円

(2) 資本的収入及び支出（第4条関係）

ア 資本的収入の執行状況

(単位:千円、%)

区 分	予 算		決 算	執行率	比較増減額
	当 初	現 額	金 額		
第1款 資本的収入	367,001	367,001	266,503	72.6	△100,498
第1項 企業債	300,000	300,000	196,800	65.6	△103,200
第2項 出資金	50,000	50,000	50,000	100.0	0
第3項 県補助金	17,000	17,000	18,743	110.3	1,743
第4項 貸付資金返還金	1	1	960	96,000.0	959

- ・資本的収入の決算は、266,503千円(執行率 72.6%)である。
- ・企業債は、予算 300,000千円に対し、決算 196,800千円であり、差引 103,200千円は医療機器等の購入減により借入が不要となったためである。

イ 資本的支出の執行状況

(単位:千円、%)

区 分	予 算		決 算	執行率	不用額
	当 初	現 額	金 額		
第1款 資本的支出	588,172	588,172	436,740	74.3	151,432
第1項 建設改良費	520,332	520,332	370,130	71.1	150,202
第2項 投資	67,840	67,840	66,610	98.2	1,230

- ・資本的支出の決算は 436,740千円で、不用額が 151,432千円となっている。
- ・建設改良費の支出内容は、主にコンピューター断層撮影装置をはじめとする医療機器等の購入である。
- ・投資の支出内容は、医学生及び看護学生に対する修学資金貸付金である。

ウ 資本収支状況

資本的収入が資本的支出に不足する額 170,237千円は、

当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	2,715 千円
当年度分損益勘定留保資金	167,522 千円

で補てんされている。

(3) 企業債の発行と償還状況

(単位:千円、%)

区 分	24年度末残高	25年度借入額	25年度借入利率	25年度償還額	25年度末残高
企 業 債	20,606,000	196,800	0.20	0	20,802,800

掛川市・袋井市新病院建設事務組合が新病院建設のために借入した企業債残高 20,606,000千円を引継ぎ、本年度に借入した 196,800千円を加えた未償還残高は 20,802,800千円となった。

(4) 一時借入金 (第8条関係)

一時借入金の限度額は 1,000,000千円であるが、本年度ピーク残高は平成26年1月の 597,586千円であり、限度額の範囲内である。

(5) 議会の議決を要する経費の流用 (第10条関係)

職員給与費及び交際費の流用は、議会の議決を経なければならない経費であるが、本年度の流用はなかった。

	予算現額	決算額
(1) 職員給与費	7,064,437 千円	7,064,382 千円
(2) 交 際 費	610 千円	166 千円

(6) たな卸資産 (第11条関係)

たな卸資産の限度額は 2,680,000千円であるが、購入額は 2,649,516千円であり、限度額の範囲内である。

購入額内訳:	薬 品	1,250,122 千円
	診療材料	1,399,394 千円

3 経営成績の状況（消費税除く）

(1) 経営収支の状況

（単位：千円、％）

区 分		平成25年度		
		金 額	構成比	
経 常 収 支	収 益	医業収益 (1)	11,112,741	87.2
		入院収益	7,468,298	58.6
		外来収益	2,874,263	22.5
		その他医業収益	608,913	4.8
		他会計補助金	161,267	1.3
	医業外収益	1,629,418	12.8	
	うち負担金交付金	1,455,145	11.4	
	計 (A)	12,742,159	100.0	
	費 用	医業費用 (2)	13,296,722	95.5
		うち 給与費	7,048,266	50.6
		うち 材料費	2,604,016	18.7
		うち 経 費	1,932,214	13.9
		うち 減価償却費	1,667,490	12.0
		医業外費用	628,375	4.5
うち支払利息及び 企業債取扱諸費		237,063	1.7	
計 (B)	13,925,097	100.0		
経常損益(A-B) (C)		△1,182,938	-	
特 別 損 益 (D)		0	-	
当年度純損益 (E)=(C+D)		△1,182,938	-	
前年度繰越利益剰余金 (F)		0	-	
当年度末処分利益剰余金(E+F)		△1,182,938	-	
総収支比率 (A+D)÷(B)		91.5		
医業収支比率 (1)÷(2)		83.6		

- ・ 経常収支は、収益 12,742,159千円、費用 13,925,097千円で、差引経常損失は、1,182,938千円となり、当年度未処理欠損金は、1,182,938千円となった。
- ・ 医業収支は、2,183,981千円の損失となっている。これは、医業収益において、外来収益が見込みよりも減少したこと、医業費用において、職員数が見込みよりも増加したことによる給与費の増加、開院に伴い取得した固定資産の減価償却費が高額になったことが挙げられる。
- ・ 病院の全活動の能力を示す総収支比率は 91.5%となった。また、経営上最も重視される医療業務活動の能率効果を測定する医業収支比率は 83.6%となった。

[資料 2]

病院収入と掛川・袋井両市からの収益的収入への繰入金決算額の状況は、次表のとおりである。

経常収支と繰入金決算額

(単位:千円、%)

区 分	平成25年度
総 収 入	12,742,159
うち医業収益 ①	11,112,741
総 費 用	13,925,097
うち医業費用 ②	13,296,722
医業損益 ①－②	△2,183,981
経 常 損 益	△1,182,938

両市からの繰入金(3条)	1,616,412
繰入金を除く経常収支	△2,799,350
繰入金／総収入(%)	12.7

掛川・袋井両市からの繰入金決算額の状況

(単位:千円)

区 分	平成25年度	掛川市		袋井市	
		掛川市	袋井市	掛川市	袋井市
両市からの繰入金	1,666,412	966,582	699,830		
内 訳	両市負担金 (収益的収入へ)	1,616,412	936,382	680,030	
	両市出資金 (資本的収入へ)	50,000	30,200	19,800	

自治体病院事業に要する経費のうち、

- ① その性質上経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費

例:保健衛生行政に要する経費など

- ② 病院事業の性質上、能率的な経営を行っても、なおその経営に伴う収入のみをもって

充てることが、客観的に困難であると認められる経費

例:救急業務、高度医療の経費など

については、地方公営企業法により、地方公共団体が負担するものとされている。

(2) 医業収益の状況

ア 患者の一人・一日当たりの診療収入(診療単価)

入院

算式	平成25年度		平成24年度			
			掛川市立総合病院		袋井市立袋井市民病院	
入院収益(千円)	7,468,298	56,452 円	4,529,090	49,112 円	3,034,947	64,880 円
年延入院患者数(人)	132,295		92,220		46,778	

外来

算式	平成25年度		平成24年度			
			掛川市立総合病院		袋井市立袋井市民病院	
外来収益(千円)	2,874,263	11,007 円	2,270,774	12,181 円	1,081,799	9,601 円
年延外来患者数(人)	261,135		186,422		112,679	

・診療単価は入院が 56,452円、外来が 11,007円となった。

イ 医師及び看護師の一人・一日当たりの診療収入(診療単価)

医師

算式		平成25年度	
入院	入院収益(千円)	7,468,298	261,770 円
	年延医師数(人)	28,530	
外来	外来収益(千円)	2,874,263	151,420 円
	年延医師数(人)	18,982	
入院+外来		413,190 円	

・入院、外来を合計した医師一人当たりの診療単価は、413,190円となった。

看護師

算式		平成25年度	
入院	入院収益(千円)	7,468,298	45,361 円
	年延看護師数(人)	164,643	
外来	外来収益(千円)	2,874,263	26,477 円
	年延看護師数(人)	108,559	
入院+外来		71,838 円	

・入院、外来を合計した看護師一人当たりの診療単価は、71,838円となった。

ウ 職員一人当たりの医業収益(年間)

算式	平成25年度	
	医業収益(千円)	11,112,741
損益勘定職員数(人)	770	

※損益勘定職員数には、血液内科医師である企業長を含む。

- ・職員一人当たりの医業収益は 14,432千円となった。

エ 診療収入の入院・外来別内訳表

(単位:千円、%)

区 分		平成25年度	
		金 額	構成比
入 院	入 院 料	2,986,716	40.0
	処 置・手 術	2,243,358	30.0
	注 射	424,447	5.7
	検 査	387,499	5.2
	放 射 線	271,664	3.7
	給 食	195,107	2.6
	投 薬	107,008	1.4
	そ の 他	852,499	11.4
	計	7,468,298	100.0
外 来	検 査	646,028	22.5
	放 射 線	559,742	19.5
	処 置・手 術	441,181	15.3
	注 射	421,162	14.7
	再 診 料	116,996	4.1
	初 診 料	101,068	3.5
	投 薬	56,485	1.9
	そ の 他	531,601	18.5
	計	2,874,263	100.0
入院・外来 計		10,342,561	

- ・入院診療収入は、7,468,298千円となった。
- ・外来診療収入は、2,874,263千円となった。
- ・入院・外来ともに、平成25年5月1日開院のため11ヶ月分となっている。

オ その他医業収益の状況

(単位:千円)

区 分	平成25年度
室料差額収益	102,120
公衆衛生活動収益	151,122
医療相談収益	270,516
受託検査施設利用収益	1,583
その他医業収益	83,572
合 計	608,913

・ 室料差額収益 (個室料収益)

・ 公衆衛生活動収益 (健康診断・予防接種収益他)

収益が大きいもの	妊婦健診	47,229 千円
	予防接種	28,736 千円
	一般健康診断	25,017 千円

・ 医療相談収益 (人間ドック収益他)

人間ドック (日帰り 8,215人、一泊 56人)	260,797 千円
脳ドック (195人)	7,031 千円
PETがん検診 (24人)	2,688 千円

・ 受託検査施設利用収益 (他の医療機関から検査の委託を受けた検査収益)

・ その他医業収益

収益が大きいもの	文書料	38,356 千円
	新生児介補料	28,092 千円
	病衣使用料	8,218 千円

(3) 医業費用の状況

ア 給与費の状況

(単位:千円)

区 分	平成25年度
医 業 収 益 ①	11,112,741
医 業 費 用 ②	13,296,722
給 与 費 ③	7,048,266
(うち退職給付費)	318,941
対医業収益比 (③÷①)	63.4
対医業費用比 (③÷②)	53.0

- ・ 医業収益における比率は 63.4%、医業費用における比率は 53.0%となった。

職員数の状況(3月31日現在)

(単位:人)

	医師	医療 技術員	看護師	事務部門	技術労務 部門		計	非常勤
平成25年度	87	119	486	43	34		769	205

※医師に企業長は含まない。

平成24年度	医師	技師	看護師	事務部門	医療助手	その他	計	非常勤
掛川市立総合病院	45	72	261	31	6	0	415	183
袋井市立袋井市民病院	32	54	196	20	0	30	332	79
計	77	126	457	51	6	30	747	262

- ・ 旧2病院の合計数と比較して、医師、看護師ともに増員となっている。

医師数(年間平均在職者数)

(単位:人)

	平成25年度
医師年間平均在職者数	85.2

- ・ 医師の年間平均在職者数は 85.2人となっている。

イ 医業経費の状況

経費のうち委託料・賃借料・保険料

(単位:千円)

	平成25年度
経 費	1,932,214
うち委託料	954,106
うち賃借料	222,280
うち保険料	28,360

・経費のうち、委託料が半分を占めている。

委託料のうち金額の大きな業務

給食業務	179,237 千円
医事業務	173,319 千円
施設設備保守業務	169,239 千円
保健衛生業務	122,732 千円

4 財政の状態

資産・負債及び資本の状態を表した貸借対照表は、次のとおりである。

(単位:千円、%)

区 分		平成25年度	
		金 額	構成比
資 産	固定資産	21,301,151	90.7
	流動資産	2,189,783	9.3
資産合計		23,490,934	100.0
負 債	固定負債	20,246,516	86.2
	流動負債	3,229,590	13.7
	繰延収益	845,692	3.6
	計	24,321,798	103.5
資 本	資本金	352,074	1.5
	剰余金	△1,182,938	△ 5.0
	計	△830,864	△ 3.5
負債資本合計		23,490,934	100.0

(1) 資産の状態

当年度の資産総額は 23,490,934千円となった。

- ・ 固定資産は 21,301,151千円となった。そのうち有形固定資産は当年度増加額 1,008,868千円を加え、減価償却累計額 1,667,491千円を差し引いた残高は、21,151,803千円となった。
- ・ 流動資産は 2,189,783千円で、内訳は未収金が 2,026,528千円、貯蔵品が 154,373千円、現金預金が 8,882千円となっている。

貯蔵品回転率

(単位:千円、%)

算 式	平成25年度	
$\frac{\text{期首貯蔵} + \text{当年度購入} - \text{期末貯蔵}}{(\text{期首貯蔵} + \text{期末貯蔵}) \div 2}$	2,607,729,517	33.8
	77,186,696	

- ・ 貯蔵品の回転率は 33.8%となった。

(2) 負債の状態

当年度の負債は 24,321,798千円となった。

- ・ 固定負債は 20,246,516千円で、内訳は企業債が 19,607,020千円、リース債務が 129,780千円、未払金が 477,483千円、退職給付引当金が 32,233千円となっている。
- ・ 流動負債は 3,229,590千円で、内訳は、1年以内に償還予定の企業債が 1,195,780千円、未払金が 1,180,197千円、賞与引当金が 388,440千円、一時借入金が 366,379千円、預り金が 55,534千円、1年以内に支払予定のリース債務が 43,260千円となっている。

未払金の内訳は、

医業未払金	868,617 千円
医業外未払金	118,194 千円
その他未払金	193,386 千円 である。

(3) 資本の状態

資本金は、352,074千円となった。当年度に2市からの出資金として 50,000千円を受け入れている。

剰余金は、△1,182,938千円となった。

資本金と剰余金を合わせた資本の合計は △830,864千円で、債務超過となっている。

5 未処理欠損金の処理について

当年度未処理欠損金 1,182,938千円については、全額を翌年度繰越欠損金としている。

6 キャッシュ・フロー計算書

1 業務活動によるキャッシュフロー

(単位：千円)

項 目	平成25年度
1 当年度純損益	△ 1,182,938
2 減価償却費	1,667,490
3 固定資産除却費	0
4 長期貸付金返還免除額	1,410
5 長期前払消費税勘定償却	△ 47,728
6 長期前受金戻入	△ 114,684
7 受取利息及び受取配当金	0
8 支払利息	237,063
9 未収金の増減額	△ 2,026,528
10 貯蔵品の増減額	△ 154,373
11 退職給付引当金の増減額	32,233
12 賞与引当金の増減額	388,440
13 法定福利費引当金の増減額	0
14 未払金の増減額	1,064,834
15 預り金の増減額	55,534
16 リース債務及び年賦に係る消費税額の調整	37,437
小 計	△ 41,810
1 利息及び配当金の受取額	0
2 利息の支払額	△ 237,063
小 計	△ 237,063
合 計	△ 278,873

2 投資活動によるキャッシュフロー

1 有形固定資産の取得による支出	△ 357,124
2 国県補助金等による収入	18,743
3 長期貸付金の貸付による支出	△ 66,610
4 長期貸付金の返還による収入	960
合 計	△ 404,031

3 財務活動によるキャッシュフロー

1 一時借入金による収入	5,747,691
2 一時借入金による支出	△ 5,381,312
3 建設改良事業債による収入	196,800
4 建設改良事業債の償還による支出	0
5 他会計からの出資による収入	50,000
合 計	613,179

資金増減額	△ 69,725
--------------	----------

資金期首残高	78,607
---------------	--------

資金期末残高	8,882
---------------	-------

キャッシュ・フロー計算書は、病院事業会計における減価償却費、資産減耗費など現金支出を伴わない費用を差し引いた実質資金収支(キャッシュ・フロー)を示したものである。

なお、本年度の業務活動によるキャッシュ・フローは 278,873千円マイナス、投資活動によるキャッシュ・フローは 404,031千円マイナス、財務活動によるキャッシュ・フローで 613,179千円プラスとなった。

これにより、資金期末残高は 8,882千円となった。

7 審査所見

平成25年4月1日に掛川市・袋井市病院企業団が発足し、全国初の市立病院同士の統合として注目される中、掛川・袋井両市民の期待を受け、5月1日に中東遠総合医療センターを開院し、今回初の決算を迎えることとなった。

開院当初は様々な混乱が見受けられたが、ほぼ一年を経過し、徐々に問題を解決しながら、現在は順調に運営されている。

当初予算計上時の純損失見込み 662,345千円（税込）に対し、決算は1,173,458千円で、511,113千円の大幅な損失増となった。

当年度の収支状況（税抜）は、総収益が 12,742,159千円、総費用が13,925,097千円で、差し引き 1,182,938千円の純損失となっている。

この要因としては、次のことが考えられる。

まず、患者数について、入院患者数は当初予定よりも増加したものの、外来患者数が当初予定の 292,500人に対し、実績 261,135人となり、31,365人の減少となった。

次に、医業収益（税込）について、当初予算額との比較で、入院収益は 6,876,081千円に対し、決算額 7,468,744千円で、592,663千円の収入増となったものの、外来収益が 3,387,150千円に対し、決算額 2,875,394千円で、511,756千円の収入減となった。なお、入院及び外来収益は 11ヶ月分である。

また、医業費用（税込）については、職員数が当初予定 692人に対し727人と、35人増員したことによる給与費の増加に加え、薬品費等の材料費が見込額を上回ったことにより、決算額は13,393,489千円となり、当初予算額12,786,779千円に対し、606,710千円の費用超過となった。

運営状況は、入院患者数一日平均 395人、外来患者数一日平均 1,171人となった。新病院を掛川市内に開設したことから、旧 2 病院運営時と比べ、袋井市・森町・磐田市在住の患者が減少している。

病床利用率は79.0%であり、診療単価は、入院が56,452円、外来が 11,007円となった。

企業債については、新病院建設のために掛川市・袋井市新病院建設事務組合が借入した残高 20,606,000千円を引き継いでいる。さらに当年度、医療機器購入のために借入した 196,800千円を加え、未償還残高は 20,802,800千円となっている。

開院によって取得した建物・構築物・器械備品の減価償却費は、1,667,490千円であり、高額となっている。

固定資産においては、旧掛川市立総合病院及び旧袋井市立袋井市民病院から引き継いだ医療機器・備品等が、それぞれどちらの病院の物であるかが区分出来るように管理されており、その管理状況も適正であると認められた。

以上、平成25年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計について、審査所見を申し述べたが、会計処理については、総勘定元帳や現金出納簿等の関係諸帳簿と決算書

類に計上された各数値を照合した結果、計数は一致しており、概ね適正に処理されていると認められた。

結びに、特に次のことについて要望する。

一点目として、患者の一部負担金に係る未収金は、退院時や医業サービスの提供時、直ちに回収することが基本である。時間が経過するにつれて、その回収が困難になっていく傾向にあることから、未収金の累積額を増やさないためにも、早い段階での回収業務を積極的に行われたい。

二点目として、レセプトの返戻が、月平均で5,000万円程度発生しており、資金繰りに影響を与えることも懸念されることから、返戻の原因を分析するとともにレセプト点検の強化に努められたい。

三点目として、開院初年度とは言うものの、11億円以上の純損失を計上する結果となったことから、経費削減等を図るとともに、経営改善に向けた取り組みを進め、健全かつ安定した病院経営に努力されたい。

以上三点のほか、初年度の決算が確定したことから、開院前に作成した新病院収支シミュレーションとの比較・分析を行い、次年度以降の中期経営計画の見直しを早急に実施されたい。

また、収支に影響を与えると思われる救命救急センターの認可申請の取り組みを着実に進めていただくよう要望する。

今後も、企業団・両市の連携により、地域住民の健康増進に寄与されることを望むとともに、中東遠地域の基幹病院として地域医療の牽引役を果たされることを期待するものである。

附表 1

入院・外来 診療科別患者数、構成比率

(単位：人、%)

区 分		入 院				外 来			
		平成25年度	平成24年度		2病院計	平成25年度	平成24年度		2病院計
			掛川市立 総合病院	袋井市立 袋井市民病院			掛川市立 総合病院	袋井市立 袋井市民病院	
内 科	患者数	16,913	10,890	21,599	32,489	41,326	20,010	31,416	51,426
	構成比	12.8	11.8	46.2	23.4	15.8	10.7	27.9	17.2
神経内科	患者数	6,132	8,290	—	8,290	8,752	9,782	—	9,782
	構成比	4.6	9.0	—	6.0	3.4	5.2	—	3.3
呼吸器内科	患者数	10,047	0	—	0	5,498	2,933	—	2,933
	構成比	7.6	—	—	—	2.1	1.6	—	1.0
消化器内科	患者数	14,009	10,056	—	10,056	18,264	10,278	—	10,278
	構成比	10.6	10.9	—	7.2	7.0	5.5	—	3.4
循環器内科	患者数	12,622	6,346	—	6,346	12,163	5,002	—	5,002
	構成比	9.5	6.9	—	4.5	4.7	2.7	—	1.7
外 科	患者数	13,467	8,420	6,561	14,981	16,274	10,387	7,563	17,950
	構成比	10.2	9.1	14.0	10.8	6.2	5.6	6.7	6.0
小児外科	患者数	0	—	—	—	3	—	—	—
	構成比	—	—	—	—	0.0	—	—	—
呼吸器外科	患者数	11	—	—	—	28	—	—	—
	構成比	—	—	—	—	0.0	—	—	—
整形外科	患者数	19,196	16,861	8,813	25,674	25,479	21,285	24,112	45,397
	構成比	14.5	18.3	18.8	18.5	9.8	11.4	21.4	15.2
リウマチ科	患者数	0	—	—	—	1,463	—	—	—
	構成比	—	—	—	—	0.6	—	—	—
脳神経外科	患者数	12,608	7,962	7,412	15,374	13,410	6,244	17,484	23,728
	構成比	9.5	8.6	15.9	11.1	5.1	3.3	15.5	7.9
小 児 科	患者数	3,746	4,515	508	5,023	13,077	10,784	2,922	13,706
	構成比	2.8	4.9	1.1	3.6	5.0	5.8	2.6	4.6
産婦人科	患者数	6,866	6,058	0	6,058	15,239	15,550	1,243	16,793
	構成比	5.2	6.6	—	4.3	5.8	8.3	1.1	5.6
泌尿器科	患者数	5,090	5,265	0	5,265	11,880	12,591	1,927	14,518
	構成比	3.9	5.7	—	3.8	4.5	6.8	1.7	4.9
皮 膚 科	患者数	1,810	1,072	889	1,961	11,062	9,867	5,472	15,339
	構成比	1.4	1.2	1.9	1.4	4.2	5.3	4.9	5.1
眼 科	患者数	1,878	1,784	342	2,126	17,166	14,835	9,346	24,181
	構成比	1.4	1.9	0.7	1.5	6.6	8.0	8.3	8.1
耳 鼻 いんこう科	患者数	4,352	2,202	0	2,202	10,675	10,424	2,425	12,849
	構成比	3.3	2.4	—	1.6	4.1	5.6	2.1	4.3
放 射 線 診 断 科	患者数	0	—	0	0	5,627	—	101	101
	構成比	—	—	—	—	2.2	—	0.1	0.0
麻 醉 科	患者数	0	—	0	0	3,047	691	1,480	2,171
	構成比	—	—	—	—	1.2	0.4	1.3	0.7
歯科口腔 外 科	患者数	1,642	2,247	654	2,901	10,291	10,605	7,188	17,793
	構成比	1.3	2.4	1.4	2.1	3.9	5.7	6.4	5.9
精 神 科	患者数	0	—	—	—	0	—	—	—
	構成比	—	—	—	—	—	—	—	—
救 急 科	患者数	1,906	—	—	—	20,411	—	—	—
	構成比	1.4	—	—	—	7.8	—	—	—
腎センター 科	患者数	—	252	—	252	—	15,154	—	15,154
	構成比	—	0.3	—	0.2	—	8.1	—	5.1
計	患者数	132,295	92,220	46,778	138,998	261,135	186,422	112,679	299,101
	構成比	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	月平均	12,027	7,685	3,898	11,583	23,740	15,535	9,390	24,925

※平成25年度は、平成25年5月1日開院のため11ヶ月分

附表 2

診療科別収入の構成比と患者一人当たり収入金額（消費税抜き）（単位：千円、%）

（単位：円）

区 分	診 療 収 入								患者一人当たり収入			
	平成25年度		平成24年度						平成24年度			
	金 額	構成比	掛川市立総合病院 金 額	掛川市立総合病院 構成比	袋井市立袋井市民病院 金 額	袋井市立袋井市民病院 構成比	2病院 計 金 額 構成比		掛川病院	袋井病院		
内 科	入院	731,507		400,841		1,448,486		1,849,327		43,251	36,808	67,063
	外来	657,718		322,101		443,168		765,269		15,915	16,097	14,106
	計	1,389,225	13.4	722,942	10.6	1,891,654	46.0	2,614,596	24.0	23,854	23,396	35,681
神経内科	入院	277,101		312,853		—		312,853		45,189	37,739	—
	外来	103,172		121,263		—		121,263		11,788	12,397	—
	計	380,273	3.7	434,116	6.4	—	—	434,116	4.0	25,549	24,021	—
呼吸器内科	入院	444,716		0		—		0		44,264	0	—
	外来	74,792		32,321		—		32,321		13,603	11,020	—
	計	519,508	5.0	32,321	0.5	—	—	32,321	0.3	33,420	11,020	—
消化器内科	入院	577,065		428,077		—		428,077		41,192	42,569	—
	外来	227,725		152,302		—		152,302		12,469	14,818	—
	計	804,790	7.8	580,379	8.5	—	—	580,379	5.3	24,937	28,542	—
循環器内科	入院	1,077,687		302,048		—		302,048		85,382	47,597	—
	外来	170,948		53,131		—		53,131		14,055	10,622	—
	計	1,248,635	12.1	355,179	5.2	—	—	355,179	3.3	50,379	31,299	—
外 科	入院	980,947		552,585		428,897		981,482		72,841	65,628	65,371
	外来	277,446		203,888		117,642		321,530		17,048	19,629	15,555
	計	1,258,393	12.2	756,473	11.1	546,539	13.3	1,303,012	11.9	42,312	40,223	38,696
小児外科	入院	0		—		—		—		0	—	—
	外来	39		—		—		—		13,001	—	—
	計	39	0.0	—	—	—	—	—	—	13,001	—	—
呼吸器外科	入院	97		—		—		—		8,836	—	—
	外来	218		—		—		—		7,784	—	—
	計	315	0.0	—	—	—	—	—	—	8,081	—	—
整形外科	入院	982,988		802,323		484,607		1,286,930		51,208	47,585	54,988
	外来	175,951		164,989		206,947		371,936		6,906	7,751	8,583
	計	1,158,939	11.2	967,312	14.2	691,554	16.8	1,658,866	15.2	25,942	25,358	21,004
リウマチ科	入院	0		—		—		—		0	—	—
	外来	44,587		—		—		—		30,477	—	—
	計	44,587	0.4	—	—	—	—	—	—	30,477	—	—
脳神経外科	入院	926,819		410,040		557,665		967,705		73,510	51,500	75,238
	外来	125,264		81,965		139,146		221,111		9,341	13,127	7,958
	計	1,052,083	10.2	492,005	7.3	696,811	16.9	1,188,816	10.9	40,437	34,634	27,989
小 児 科	入院	164,129		207,352		23,335		230,687		43,815	45,925	45,935
	外来	134,773		154,870		23,880		178,750		10,306	14,361	8,172
	計	298,902	2.9	362,222	5.3	47,215	1.2	409,437	3.7	17,767	23,676	13,765
産婦人科	入院	399,702		398,366		0		398,366		58,215	65,759	0
	外来	74,190		73,025		8,690		81,715		4,868	4,696	6,991
	計	473,892	4.6	471,391	6.9	8,690	0.2	480,081	4.4	21,438	21,816	6,991
泌尿器科	入院	310,512		313,175		0		313,175		61,004	59,482	0
	外来	184,117		192,315		16,544		208,859		15,498	15,274	8,585
	計	494,629	4.8	505,490	7.4	16,544	0.4	522,034	4.8	29,147	28,309	8,585
皮 膚 科	入院	67,933		37,890		32,551		70,441		37,532	35,345	36,616
	外来	62,559		40,395		19,748		60,143		5,655	4,094	3,609
	計	130,492	1.2	78,285	1.2	52,299	1.3	130,584	1.2	10,138	7,156	8,222
眼 科	入院	142,355		132,004		26,596		158,600		75,801	73,993	77,766
	外来	133,782		102,546		48,147		150,693		7,793	6,912	5,152
	計	276,137	2.7	234,550	3.5	74,743	1.8	309,293	2.8	14,500	14,113	7,715
耳 鼻 いんこう科	入院	200,632		93,809		0		93,809		46,101	42,602	0
	外来	79,175		74,142		14,071		88,213		7,417	7,113	5,803
	計	279,807	2.7	167,951	2.5	14,071	0.3	182,022	1.7	18,620	13,302	5,803
放 射 線 診 断 科	入院	0		—		0		0		0	—	0
	外来	81,378		—		1,578		1,578		14,462	—	15,626
	計	81,378	0.8	—	—	1,578	0.0	1,578	0.0	14,462	—	15,626
麻 酔 科	入院	0		0		0		0		0	0	0
	外来	21,737		1,437		5,195		6,632		7,134	2,080	3,510
	計	21,737	0.2	1,437	0.0	5,195	0.1	6,632	0.1	7,134	2,080	3,510
歯科口腔 外 科	入院	90,291		122,400		32,810		155,210		54,988	54,472	50,168
	外来	64,186		86,672		37,043		123,715		6,237	8,173	5,153
	計	154,477	1.5	209,072	3.1	69,853	1.7	278,925	2.5	12,945	16,268	8,907
精 神 科	入院	0		—		—		—		0	—	—
	外来	0		—		—		—		0	—	—
	計	0	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—
救 急 科	入院	93,817		—		—		—		49,222	—	—
	外来	180,506		—		—		—		8,844	—	—
	計	274,323	2.6	—	—	—	—	—	—	12,292	—	—
腎センター 科	入院	—		15,327		—		15,327		—	60,821	—
	外来	—		413,412		—		413,412		—	27,281	—
	計	—	—	428,739	6.3	—	—	428,739	3.9	—	27,829	—
計	入院	7,468,298	72.2	4,529,090	66.6	3,034,947	73.7	7,564,037	69.3	56,452	49,112	64,880
	外来	2,874,263	27.8	2,270,774	33.4	1,081,799	26.3	3,352,573	30.7	11,007	12,181	9,601
	計	10,342,561	100.0	6,799,864	100.0	4,116,746	100.0	10,916,610	100.0	26,288	24,404	25,817
月平均	入院	678,936	72.2	377,424	66.6	252,912	73.7	630,336	69.3	—	—	—
	外来	261,297	27.8	189,231	33.4	90,150	26.3	279,381	30.7	—	—	—
	計	940,233	100.0	566,655	100.0	343,062	100.0	909,718	100.0	—	—	—

※平成25年度は、平成25年5月1日開院のため11ヶ月分

附表 3

経営分析表

分析項目	単位	平成25年度	算式	説明
固定資産構成比率	%	90.7	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$	固定資産と資産総額との割合を表すもので、この比率の高いことは公営企業の特徴であるが、低いほうが望ましい。
固定負債構成比率	%	86.2	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	固定負債と総資本との割合を表すもので、この比率の低いほうが望ましい。
自己資本構成比率	%	△3.5	$\frac{\text{資本金+剰余金}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	自己資本と総資本の割合を表すもので、この比率の高いほうが望ましい。
固定資産対長期資本比率	%	109.7	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金+剰余金+固定負債}} \times 100$	固定資産と長期資本（資本金と固定負債との合計）との割合で、資本固定化の程度を表すものであって100%以下であることが望ましい。
固定比率	%	△2,563.7	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金+剰余金}} \times 100$	固定資産と自己資本との割合で、資本固定化の程度を表すものであって、100%以下であることが望ましい。
流動比率	%	67.8	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	流動資産と流動負債との割合で、流動負債の支払能力の程度を表す比率であって、200%以上であることが望ましい。
当座比率	%	63.0	$\frac{\text{現金預金+未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	当座資産と流動負債との割合で、流動負債の支払能力の程度を表す比率であって、100%以上あることが望ましい。
現金預金比率	%	0.3	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	現金・預金と流動負債の割合で、流動負債の支払能力の程度を表す比率であって、20%以上あることが望ましい。
自己資本回転率	回	△42.0	$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首資本金、剰余金} + \text{期末資本金、剰余金}) \div 2}$	自己資本の利用度を表すもので、原則として回転率の高いことが必要である。
固定資産回転率	回	0.5	$\frac{\text{営業収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) \div 2}$	固定資産の利用度を表すもので、収益性の観点からは回転率の高いほうがよいが、健全性の上からいえば回転率のあまり高いのはよくない。
減価償却率	%	7.8	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{期末償却資産} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$	固定資産の償却率を表すものである。
流動資産回転率	回	9.8	$\frac{\text{営業収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) \div 2}$	流動資産の使用、利用度を表すものである。
未収金回転率	回	11.0	$\frac{\text{営業収益}}{(\text{期首医業未収金} + \text{期末医業未収金}) \div 2}$	未収金の回収度（回収率）を表すもので、高いほど回転が早く、未収金が未回収のまま残留する期間が短いことを意味する。
総資本利益率	%	△5.2	$\frac{\text{当年度純利益}}{(\text{期首負債資本} + \text{期末負債資本}) \div 2} \times 100$	当期の純利益（純損失）と総資本との割合で、企業全体（総資本）の収益性を表すものである。
総収益対総費用比率	%	91.5	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	当期の総収益と総費用との割合で、営業活動の能率を表すものであって、この比率の高いほうが望ましい。
医業収益対医業費用比率	%	83.6	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$	当期の医業収益と医業費用との割合で、営業活動の能率を表すものであって、この比率の高いほうが望ましい。
利子負担率	%	1.1	$\frac{\text{支払利息}}{(\text{期首企業債、一時借入金} + \text{期末企業債、一時借入金}) \div 2} \times 100$	支払利息と負債との割合を表すもので、この比率の低いほうが望ましい。
企業債償還元金対減価償却額比率	%	0.0	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{減価償却費}} \times 100$	企業債償還元金とその償還財源に充当すべき減価償却費との割合を表すもので、この比率の低いことが望ましい。